

平成29年度予算要求の基本方針について

1 財政収支の見通し・予算要求の基本方針

- 本県財政は、歳入面では、一般財源総額の大幅増が見込めず、歳入総額の伸びは期待できないこと、歳出面では、退職手当費の高止まりや、社会保障関係費の増加が見込まれることから、平成29年度から平成32年度の4年間で、420億円もの財源不足が見込まれており、持続可能で健全な財政構造の確立に向けて、歳出改革・歳入確保などの財政構造改革を進めていく必要がある。
- 一方で、東日本大震災及び関東・東北豪雨からの着実な復旧・復興と、災害に強い県土づくりを推進するとともに、人口減少社会の中で、県総合計画に掲げる「みんなで創る 人が輝く元気で住みよい いばらき」づくりを目指し、各種施策を一層推進する必要がある。
- 予算要求に際しては、事業成果に基づいたスクラップ・アンド・ビルドによる施策の選択と集中や、施策の費用対効果・効率化について十分に精査・検証を行うなどの歳出改革や様々な手段による歳入確保により、財政構造改革を進めること。

2 平成29年度要求限度額設定方針等

(東日本大震災及び関東・東北豪雨関連事業分は別枠確保)

- (1) 義務的経費及びこれに準ずる経費 … 所要額
- (2) 一般行政費、公共以外の投資的経費
 - ① 特に政策判断を要する経費、維持管理経費等 … ±0%
 - ② その他の一般行政費等 … ▲3%
- (3) 公共事業費（国補・県単） … ±0%
- (4) 重要政策等特別枠 … 一般行政費、公共事業費の要求基礎額の10%＝100億円
※新規事業を要求する場合には、要求本数の1/2に当たる本数の事業の廃止を要件
- (5) 歳入創出・歳出改革推進特別枠 … 行革効果が見込まれる場合の一時経費等
行財政改革推進の観点から、歳入創出・歳出改革の効果が高いと期待できる事業について、一時的な財政負担等を要求枠に加算。
- (6) アイディアオリンピック等特別枠 … 所要額
アイディアオリンピックにおける優れた提案等のうち、施策化の必要が高いと期待できる事業について、所要額を要求枠に加算。
- (7) 事務事業再構築特別枠 … 廃止事業相当額
施策の選択と集中を促すため、事業のスクラップ・アンド・ビルドに応じた所要額を要求枠に加算。
- (8) 節約奨励システム枠 … 平成28年度の創意工夫による節約相当額

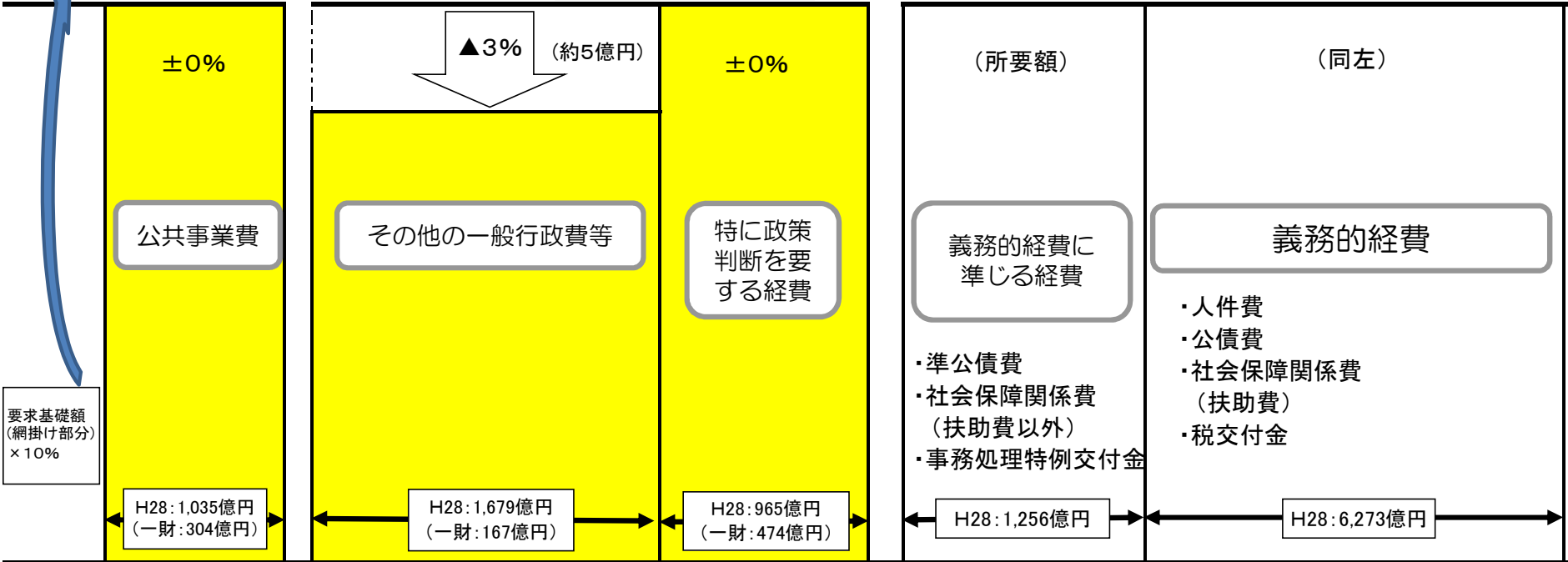
3 留意事項

- (1) 各課・各グループごとにシーリングをそのまま適用するなど硬直的な予算要求とせず、部局長・課室長の主導で、横断的に抜本的な事務事業の見直しを行うこと。
- (2) 限られた財源・人員で、的確に政策目的を達成するため、継続事業については、これまでの成果を踏まえて要求することとし、業務の簡素化、無駄の排除、手順の合理化等に徹底的に取り組むこと。
- (3) 部局間の連携を密にし、県総合計画における施策展開の基本方向に位置づけられた施策群との整合を図ること。
- (4) 行財政改革を進めるなか、人的資源の大幅増が困難であることから、各部局においては、一つ一つの事業に着実に取り組めるよう、事業実施に係る組織体制を勘案のうえ、要求すること。

平成29年度一般会計予算要求の考え方

東日本大震災及び関東・東北豪雨関連事業
重要政策等特別枠 要求枠(公共含み): 要求基礎額 × 10%

再構築枠



◆シーリングの考え方

- ・一般行政費等(一般財源ベース) 他に政策判断を要する経費 ±0%
- その他の一般行政費 ▲3%
- ・公共事業費(歳出ベース) ±0%

◎重要政策等特別枠 要求枠(公共含み) 100億円
 : 要求基礎額(網掛け部分) × 10%

※東日本大震災, 関東・東北豪雨関連事業については別枠確保

◆要求特別枠「重要政策等特別枠」

新たな県総合計画や地方創生等の政策課題に対応するため、全体で100億円程度を要求枠に加算。

- ・「みんなで創る 人が輝く元気で住みよい いばらき」づくり
- ・茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ・一億総活躍社会の実現に向けた取組
- ・災害に強い県土づくり
- ・その他部局課題

※新規事業を要求する場合には、要求本数の1/2に当たる本数の事業を廃止すること